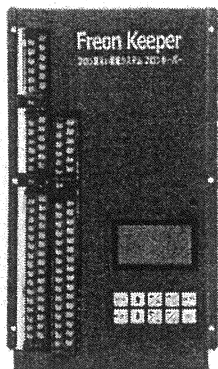


ナンバが全国展開

フロン漏えい検知システム

【新潟】ナンバ（新潟県長岡市、難波算一社長、0258・422211）は、フロンガス漏えい検知システムと省エネコントローラー事業を全国展開する。その足がかりとして7月内にも東京都品川区に東京事務所を開設する。その後、主要都市に事務所を開設していく。これらの取り組みにより、2015年10月期に17億2600万円だった売上高を、18年10月期に30億円に引き上げる。

月内に東京事務所開設



社会的に環境に対する意識が高まる中、一定以上のフロンが漏えいした場合、国への報告義務を定めたフロン排出抑制法が施行されるなど、自社商品の受

注が全国的に増加すると判断した。今後、機器販売とメンテナンス体制を全国的に整えていく。

大型の受注があつた場合は新潟県の本社から人員を派遣して対応する。国内で事業基盤を固め、その後、海外で事業を展開する方針だ。

「フロンキーパー」は冷凍機や空調機の内部にパイプ管を設け、液面検知でフロンの量を測定する。フロン

量が基準値を下回る凍・冷蔵システムのフアンとヒーターの運転を制御する装置。自己学習能力を持ち、運転状況を最適化することで、電気代を20~40%削減できるほか、庫内温度が安定し、霜がなくなる。

一方、「KE2省エネコントローラ」は冷